平成31年度　台東区立東泉小学校　経営計画案（第1案）

平成31年4月1日

学校教育目標「かがやけ」東泉の子　か‥学校考える子　が‥がんばる子　や‥やさしい子　け‥元気な子

○目指す学校像　①子どもが笑顔でいきいきと登校する学校②教職員がはつらつと教育活動に取り組む学校　③保護者・地域の方が信頼を寄せる学校
○目指す児童像　①自ら学び、考え、行動できる子　②思いやりのある子　③心身共にたくましい子　④学校を愛し、地域を愛する子
○目指す教師像　①自分の持ち味や専門性を高める教職員　②互いに切磋琢磨する教職員　③連携し、協力し、協働する教職員　④保護者・地域に信頼される教職員

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標	取組例
学力の向上	○授業改善を進め、児童に基礎的・基本的学習内容の確実な定着を図る。	○学習規律の徹底と学習の基礎的・基本的な学習事項の定着と読書活動の充実を図る。	★全校共通の学習規律(東泉スタイル)の指導を行い、その徹底を図る。	4 毎日児童に学習規律の指導を行っている。 3 週に3～4回程度 2 週に1・2回程度 1 月に数回程度。	4 児童アンケートにより、「東泉スタイルを守る」児童が全体の90%以上。 3 80%以上。 2 70%以上。 1 70%未満。	○学力向上委員会を中心に学習規律（東泉スタイル）について計画・提案・推進・振り返りをさせる。 ○年度当初全職員で「東泉スタイル」について共通理解し、児童への共通指導をする。毎学期重点目標を決めていく。 ○日常・授業観察により、実施状況を確認し、学力向上委員会を中心に改善を図る。
			★読書活動を充実させ、児童の読書量を増やす。	4 読書タイム・読書週間に毎回、意識的に指導を行っている。 隔週に1回程度、意識的に指導を行っている。 2 月に1・2回程度、意識的に指導を行っている。 1 2月に1回程度、意識的に指導を行っている。	4 一年間に全学年50冊以上の児童が90%以上。 3 80%以上。 2 70%以上。 1 70%未満。	○朝学習で毎週火曜日に「読書タイム」を設置し読書に親しませる。 ○「読書週間」を設定し、自己のめあてを決めさせ重点的な指導を行う。 ○図書ボランティアとの連携により、読み聞かせなどを行う。
			★家庭学習の習慣化を図り、自主学習を推進する。	4 毎日課題を出し、家庭学習の習慣化を図る指導を行っている。 3 週に3・4日程度 2 週に1・2日程度 1 月に数回程度	4 家庭学習カードにおいて「毎日家庭学習を行う」児童が90%以上。 3 80%以上。 2 70%以上。 1 70%未満。	○毎日家庭での学習課題を出し、翌日チェックする。 ○学力向上委員会と連携し、自主学習の内容を工夫し推進していく。 ○毎週水曜日の「古典」や「ことわざ」の暗唱等も家庭学習で行うようにする。
		○児童の興味・関心を高める児童主体の授業展開を工夫する。	★児童主体の、児童の興味関心を高めた、分かる授業を行う。	4 毎日、児童主体の、分かる授業を工夫し、展開している。 3 週に2～3回程度、指導を行っている。 2 週に一回程度、指導を行っている。 1 月に数回程度、指導を行っている。	4 児童・保護者アンケートから「学習を理解している」の評価90%以上 3 評価80%以上 2 評価70%以上 1 評価70%未満	○校内研修で学んだ指導方法を普段の授業に生かす。 ○校内研究・OJTをもとに児童の実態に合わせた「主体的・対話的で深い学び」の実現を視点とした授業改善の実施 ○週案により、その計画・実施を確認し、年3回指導案作成授業観察や日々の授業観察で指導・助言する。
			★授業のねらいに合わせてICT機器を効果的に活用する。	4 毎日、ICT機器を活用した授業を行っている。 3 週に3～4日程度 2 週に1・2日程度 1 週に1日未満。	4 児童・保護者によるアンケートで満足度90%以上 3 満足度80%以上 2 満足度70%以上 1 満足度70%未満	○学級・学年のデジタル教材・導入にはフラッシュ教材を活用する。教室のICT機器環境を整備する。 ○研修会を設定し教員のスキルアップと児童への指導力を高める。 ○週案・年間指導計画により、その計画・実施を確認し、授業観察で指導・助言する。
			★授業での単元末に「ふりかえり」の時間を確保し、思考力・判断力・表現力を高める。	4 全単元の90%以上で「ふりかえり」の時間を確保し、実施している。 3 全時間の70%以上で実施 2 全時間の60%以上で実施。 1 実施が全時間の60%未満。	4 児童アンケートで、「ふりかえりを行っている」と答える児童が90%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満。	○学習の共通指導を東泉スタイルにて明確にし、推進させる。 ○全教室の前面、目立つところに共通掲示し、児童の指導に当たる。 ○授業観察や授業公開の際に確認・指導する。
		○OJT・校内研究を通じ、教員の指導力を高める。	★平成30・31年度台東区教育委員会研究協力校に指定された校内研究を推進し、児童が主体的に活動する授業のための指導法を研究する。	4 全計画の80%以上に参加し、指導方法を研究。 3 全計画の70%参加。 2 全計画の60%参加。 1 全計画の参加が60%未満。	4 教員アンケートで、全教員の90%以上が指導力が向上したと実感。 3 80%以上が指導力が向上したと実感。 2 70%以上が指導力が向上したと実感。 1 実感する教員が70%未満。	○講師を招いての研究全体会を年間8回実施する。 ○事前に数回研究分科会の検討時間を確保し、指導案の検討・事前授業会など公開する。 ○年度末に研究紀要を作成し、成果、課題をまとめる。
			★OJTを活用し、各職層に応じた人材育成を図る。	4 全計画の80%以上に参加し、指導方法を研究・改善した。 3 全計画の70%参加。 2 全計画の60%参加。 1 全計画の参加が50%未満。	4 教員アンケートで、全教員の80%以上が指導力が向上したと実感。 3 70%以上が指導力が向上したと実感。 2 60%以上が指導力が向上したと実感。 1 実感する教員が60%未満。	○OJT推進のための組織を作り、年間計画を作成し計画的に実施する。 ○月2回以上ミニOJT研修会を実施し、主任教諭が交代で講師を務め、研修を行う。 ○書写や体育の実技研修も行う。
豊かな人間性の育成	○生命を尊重し、互いに認め合い、支え合える豊かな心を育む。	○人権教育を推進し、自他を大切にする心情や人間関係を育てる。	★道徳性を養う「考え、議論する」道徳授業・評価を充実させるとともに、豊かな情操を育てる。	4 全計画の80%以上に参加し、指導方法を研究。 3 全計画の70%参加。 2 全計画の60%参加。 1 全計画の参加が60%未満。	4 教員アンケートで、全教員の90%以上が指導力が向上したと実感。 3 80%以上が指導力が向上したと実感。 2 70%以上が指導力が向上したと実感。 1 実感する教員が70%未満。	○こころざし教育副読本を活用する事業や授業も行う。 ○道徳授業地区公開講座の事前研究会をOJT研修会にもち、道徳指導の向上を図る。 ○毎回の時間、指導研修会での成果を生かした授業を展開し評価も工夫する。
			★課題について、全教職員が全児童担任の意識で対応し、児童間の人間関係を育てる。	4 発生した問題の80%以上の件数で連絡・相談・対応。 3 70%以上に連絡・相談・対応。 2 60%以上に連絡・相談・対応。 1 発生した問題について連絡・相談・対応が60%未満。	4 児童・保護者評価で満足度80%以上 3 満足度70%以上。 2 満足度60%以上。 1 満足度60%未満。	○生活指導夕会を設定し、各学年学級の児童の様子を共通理解する。 ○ケース会議を随時開催し、早期解決を図る。 ○スクールカウンセラーとの連携を深め、児童の思いをとらえ児童理解に努める。
		○基本的生活習慣の定着を図る。	★挨拶・返事・正しい言葉遣いの指導を行う。	4 毎日、児童に指導や講話を行っている。 3 週に2～3回程度、指導や講話を行っている。 2 週に一回程度、指導や講話を行っている。 1 月に数回程度、指導や講話を行っている。	4 児童アンケートから、意識して行っている児童が80%以上。 3 意識して行っている児童が70%以上。 2 意識して行っている児童が60%以上。 1 意識して行っている児童が60%未満。	○全校朝会で計画的にあいさつ指導、東泉スタイルの振り返り、言葉遣いについて全体指導をする。 ○青空班での挨拶週間をもうけ、めあてを意識させ、青空班による挨拶活動を行い、重点的に指導する。 ○毎時間の授業「始め・終わり」や、朝会時に大きな声の返事について指導をする。
			★「早寝・早起き・朝ごはん」等教職員共通した生活習慣・規律（東泉スタイル）を遵守させる指導を行い、規範意識を高める。	4 毎日児童に生活規律についての指導・講話を行っている。 3 週に2～3回程度、指導・講話を行っている。 2 週に一回程度、指導・講話を行っている。 1 月に数回程度、指導・講話を行っている。	4 児童アンケートにより、気をつけて生活している児童が90%以上。 3 全児童の80%以上。 2 全児童の70%以上。 1 全児童の60%未満。	○生活指導部を中心として、「学校の約束」を確認し、共通指導を行う。 ○掲示物を工夫し、児童の規則を遵守する意識を高める。 ○毎週1回金曜日の職員夕会において、指導内容の共通化を図る。
		○異学年との交流を通して好ましい人間関係を育てる。	★東泉オーケストラ活動や青空班による異年齢集団の活動や関わりを計画的に行う。	4 全教職員が児童に意識的に指導を実施。 3 90%以上の教職員が実施。 2 80%以上の教職員が実施。 1 実施した教職員が80%未満。	4 児童アンケートによる満足度80%以上。 3 満足度70%以上。 2 満足度60%以上。 1 満足度60%未満。	○青空班による活動を年間5回計画。年2回の清掃を行う。5月に全校遠足、12月に東泉ランドを行い、児童の異年齢集団の行動機会を作る。
体力の向上と健康・食育	○健康で安全な生活を実践する力を育む。	○児童の基礎体力の向上を図る。	★発達段階に応じた指導を工夫・改善し、体力・耐力の向上への意識を高める。	4 全教職員が児童に意識的に指導を実施。 3 90%以上の教職員が実施。 2 80%以上の教職員が実施。 1 実施した教職員が80%未満。	4 教員アンケートで全児童の80%が意欲的に運動に挑戦している。 3 全児童の70%以上 2 全児童の60%以上 1 全児童の60%未満。	○縄跳び運動・持久走・水泳指導等で、全校共通のカードによる練習と検定を行うことで、運動に励ませる。 ○毎週木曜日に運動する「東泉タイム」を行う。 ○2月に持久走記録会を実施する。
			★授業の他、オリンピック・パラリンピ教育を推進し意識を高めるとともに、体育的活動をもとに年間を通した体力づくりを行う。	4 全教職員が児童に意識的に指導を実施。 3 90%以上の教職員が実施。 2 80%以上の教職員が実施。 1 実施した教職員が80%未満。	4 教員アンケートで全児童の80%が意欲的に運動に挑戦している。 3 全児童の70%以上 2 全児童の60%以上 1 全児童の60%未満。	○毎週木曜日に「東泉タイム」を実施し、年間を通してオリンピック・パラリンピックを教育を行っていく。 ○1学期「長縄月間」2学期「短縄月間」3学期「持久走月間」として、学校全体で取り組む。 ○活動カードを工夫し、めあてをもち、主体的に取り組み、達成感を味わえるよう工夫する。
		○児童の健康・食育教育を推進する。	★健康に関する全校共通した指導を行うことで健康保持増進の意識を高める	4 全教職員が児童に意識的に指導を実施。 3 90%以上の教職員が実施。 2 80%以上の教職員が実施。 1 実施した教職員が80%未満。	4 教員アンケートから全児童の80%以上が気をつけて生活している。 3 児童が70%以上。 2 児童が60%以上。 1 児童が60%未満。	○「はみがきタイム」を固定し、毎日指導を行う。 ○学校保健計画の保健指導の年間計画を学級担任との連携・協力により実施。 ○生活リズムをつけさせるため健康生活カードによるチェックを年3回実施。
			★担任・栄養士、専科教員と協力し年間を通し給食指導や食育指導を進める。	4 全教職員が児童に意識的に指導を実施。 3 90%以上の教職員が実施。 2 80%以上の教職員が実施。 1 実施した教職員が80%未満。	4 教員アンケートから全児童の80%以上が意識的に行動している。 3 全児童の70%以上 2 全児童の60%以上 1 全児童の60%未満。	○給食時間の準備・片付けまでのタイムテーブルを作成し、共通指導する。 ○栄養士の給食指導、給食放送を通して、体を作る食材について関心もたせる。 ○リクエスト給食やバイキング給食などを設定し、給食を楽しみにする機会を設ける。
		○安全教育を推進する。	★危機を未然に防ぐために、全教職員で点検・対策を行う。	4 全教職員が児童に意識的に指導を実施。 3 90%以上の教職員が実施。 2 80%以上の教職員が実施。 1 実施した教職員が80%未満。	4 教員アンケートで安全に対する意識が高まった教員が80%以上。 3 70%以上。 2 60%以上。 1 60%未満。	○校舎内外の全施設を全教員で月1回点検する。 ○「子供安全の日、一斉下校」の保護者への公開も行い、交通安全の下校指導をする。 ○登校時の安全点検や歩行の課題について月に一度実施する。
			★「自分の命は自分で守る」意識を高め、生活安全・交通安全・災害安全教育を推進する。	4 全教職員が児童に意識的に指導を実施。 3 90%以上の教職員が実施。 2 80%以上の教職員が実施。 1 実施した教職員が80%未満。	4 児童アンケートによる満足度80%以上。 3 満足度70%以上。 2 満足度60%以上。 1 満足度60%未満。	○計画的に火災発生場所を想定し、それに応じた避難の仕方を訓練する。 ○地震による校舎からの避難や、洪水・竜巻による避難の仕方を訓練する。 ○長期休業前に毎回確認し、意識の向上を図る。
信頼される学校づくり	○地域に開かれた学校づくりを進める。	○保護者・地域に信頼される学校づくりを推進する。	★学校公開・土曜授業公開や各種行事等を利用し情報発信する。	4 年間を通して、全教科数の80%を以上を公開。 3 60%以上を公開。 2 40%以上の指導を公開。 1 公開した教科が、全ての教科数の40%未満。	4 保護者アンケートによる満足度、80%以上 3 満足度70%以上 2 満足度60%以上 1 満足度60%未満。	○年間10回の土曜授業公開を実施する。 ○専科授業など、多様な教科指導の状況を公開する。 ○公開日に合わせて道徳授業地区公開講座やセーフティ教室を実施する。
			★学校・学年便りを発行し、HPを更新、公開するほか、ツイタもん一括メールを適宜配信し、各種アンケートを行う。	4 全計画を実施。 3 全計画の90%以上を実施。 2 全計画の80%以上を実施。 1 実施が全計画の80%未満。	4 保護者アンケートによる満足度80%以上 3 満足度70%以上 2 満足度60%以上 1 満足度、60%未満。	○学校HPにて、年間予定や給食献立、移動教室の速報など、保護者のニーズに合わせた情報を提供する。 ○ツイタもん一括メールを利用して、緊急時等の連絡配信を行う。 ○学校・学年便り・ぐんぐん等の内容を工夫し、さらに年2回学校評価アンケートを行い、結果を保護者に伝える。
		○地域の施設・人材を生かした教育活動を推進する。	★社会科・生活科・総合的な学習の時間等でカリキュラム・マネジメントをもとに地域施設や人材を活用した学習・出前授業を行う。	4 全学級学年で計画を実施。 3 全学年・学級の90%以上で実施。 2 全学年・学級の80%以上で実施。 1 全学年・学級の実施が80%未満。	4 地域への理解や、愛する心情をもつ児童が90%以上。 3 80%以上。 2 70%以上。 1 70%未満。	○NPO法人スカイ学校支援ネットワークと連携し、各学年年間2回以上出前授業を実施する。 ○各学年、地域の方をゲストティチャーとして招き、授業を工夫する。 ○地域施設見学や探検など、地域を活用した単元を工夫し、実施する。